



平成 22 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 : 株式会社三菱ケミカルホールディングス
 代表者名 : 取締役社長 小林 喜光
 (コード番号 : 4188)
 問合せ先 : 広報・IR室長 高阪 肇
 TEL. 03-6414-4870

**第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正
 並びに剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 22 年 8 月 4 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 22 年 11 月 2 日開催の取締役会において平成 22 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 13 日に公表しました平成 23 年 3 月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

(1)平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	1,590,000	93,000	85,000	32,000	23 円 31 銭
実績 (B)	百万円	1,564,658	111,393	106,388	43,976	32 円 04 銭
増減額 (B-A)	百万円	△25,342	18,393	21,388	11,976	
増減率	%	△1.6	19.8	25.2	37.4	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間)	百万円	1,145,807	2,071	△4,551	△2,567	△1 円 86 銭

(2)差異の理由

利益面につきましては、医薬品事業で主力品が順調に推移したこと等、すべてのセグメントにおいて営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回発表予想を上回りました。

2. 通期業績予想の修正

(1)平成 23 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	3,250,000	156,000	138,000	41,000	28 円 80 銭
今回修正予想 (B)	百万円	3,190,000	203,000	196,000	75,000	52 円 68 銭
増減額 (B-A)	百万円	△60,000	47,000	58,000	34,000	
増減率	%	△1.8	30.1	42.0	82.9	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	百万円	2,515,079	66,342	58,990	12,833	9 円 32 銭

(2)修正の理由

利益面につきましては、上期に医薬品事業において主力品が順調に推移したことに加え、石油化学関連製品等も引き続き堅調が見込まれるため、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回発表予想を上回る見込みです。

3. 剰余金の配当及び配当予想の修正

(1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成22年5月13日公表)	前期実績 (平成22年3月期)
基準日	平成22年9月30日	同左	平成21年9月30日
1株当たり配当金	5円00銭	4円00銭	4円00銭
配当金総額	6,883百万円	—	5,506百万円
効力発生日	平成22年12月2日	—	平成21年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2)配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想		4円00銭	8円00銭
今回修正予想		5円00銭	10円00銭
当期実績	5円00銭		
前期実績(平成22年3月期)	4円00銭	4円00銭	8円00銭

(3)理由

当社は、配当については連結業績に応じて行うことを基本としつつ、株主への利益還元、中長期的な安定配当、今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案して決定することとしております。

当期の連結業績予想の修正を踏まえ、1株あたり年間配当金を、前期実績及び当初予想である8円から2円増配し10円とさせていただきます。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上